

あい・あい

(愛・会・合・相)



本田さん：一番大切にしていることは、入所者とのコミュニケーションです。

入所者の声：自分で作ったおはぎは、とてもおいしかった！おはぎ大好き♡



(イラスト 夫馬)



ボランティアグループ紹介

稲沢モラロジー事務所 せんりょうの会

設立年月日／昭和61年4月1日

会員数／6名

代表者／本田悦子

問合せ先／稲沢市社会福祉協議会
ボランティアセンター

活動／第3火曜日「クッキングクラブ」

特別養護老人ホーム祖父江グリーンハウスの入所者と一緒に、おはぎ、クッキーなどのおやつをリハビリを兼ねて作ります。公益財団法人モラロジー研究所では、心の生涯学習誌「れいろう」「ニューモラル」の発行やモラロジー生涯学習セミナーを開催しています。

★編集委員 佐溝クッキングコーナー(提供「せんりょうの会」)

「おはぎを作ってみよう！」【材料4人前】・もち米1カップ約150g(炊き上がり1個約40g)・お水180cc・すり黒胡麻15g・砂糖15g・塩少々・粒あん(市販)220g【あんおはぎ用140g(1人30g~35g程度)、胡麻おはぎ用80g(1人20g程度)】



(編集委員 佐溝・長尾) (写真撮影 小島)

発行 社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会ボランティアセンター

〒492-8218 稲沢市西町三丁目10番24号 社会福祉会館内 TEL (0587) 23-6713 FAX (0587) 33-4666

E-mail volo-info@inazawa-shakyo.or.jp ホームページで読める!! 「あい・あい」 <http://www.inazawa-shakyo.or.jp>

稲沢市社会福祉協議会

検索

この稲沢市社協ボランティア・市民活動だより「あい・あい」は、市内在住・在勤・在学の編集ボランティアが作成し、社協会員会費により発行しています。

稲沢市ボランティア・市民活動連絡会

～出会いから始まる、素敵な活動～

稲沢市社会福祉協議会ボランティアセンターに登録しているボランティア活動者(団体相互の連絡調整や親睦・交流を深めることなどを目的としたボランティア・市民活動連絡会。その第5回定例会が4月26日(月)に社会福祉会館で開催され、活動発表会の実施や他のボランティア・市民活動団体の見学についての話し合いが行われました。



設立
平成21年6月15日
会員数
28名
問合先
稲沢市社会福祉協議会
ボランティアセンター

「盲人ガイドボランティア養成講座」開催しました。

～講義、実習、意見交換会で学ぶ～

3月11日(木)に勤労福祉会館で盲人ガイドボランティア養成講座が稲沢市社会福祉協議会主催、ボランティアグループ手びきサークル道の運営により開催しました。

参加者17人は、講師である鈴木敬子氏手びきサークル道代表の講義を真剣な眼差しで聞いていました。

講義後は、アイマスクを着けての昼食やシヨッピングセンター内を歩くガイド実習、また、視覚障がい者と受講者との意見交換会も行われました。



(イラスト 夫馬)

社協ボランティアセンターは
こんな活動しています

◆服部礼美香さん プロフィール◆

1973年愛知県稲沢市生まれ。母のガン罹患や祖父の介護の経験から、公的・私的保障の専門知識を得るためFP資格を取得。その後平成19年に同居している祖母が認知症を患い、介護と仕事の両立の大変さを経験したことを機に、平成20年6月にだれもが安心して暮らせる相談窓口「生き活き小町」という市民団体を立ち上げる。



だれもが安心して暮らせる相談窓口
「生き活き小町」でのボランティア実績

- ・平成20、21年「福祉まつり」でブースを出展し、栄養強化のためのサンプル配布、各種相談会
- ・各種専門家による暮らし、介護、老後に関する個人無料相談会実施(5回)
- ・各種専門家による暮らしに関するセミナー実施(10回)
- ・サンプルイベント実施・・・栄養強化のためのサンプル配布&栄養士などによる説明会(3回)
- ・介護予防講座実施(クラフトかばん作り、貼り絵講座)
- ・介護予防情報発信イベント「びーかんパパのもれなく元気が出る話」実施 など

稲沢市男女共同参画社会づくり団体「いなざわウィルネット」会長
稲沢市男女共同参画審議会委員、稲沢市都市計画審議会委員 など

めまぐるしく変化する社会や法制度の中で、ご家族に福祉の手が必要になったとき、自分の悩みを誰に相談したらいいのかわからない経験はありませんか。服部さんも自宅での介護や看取りを経験されたことで、「お金にまつわる暮らし」からの視点が必要であることを再確認されたそうです。その経験とFPの専門性を生かして、困っているかたに向き合いたいと熱く語ってくださいました。

(編集委員 塚本)

★キラリ、ハートの入★

ボランティア・インタビュー



てるてる福ちゃん



(作 松川)

- ★ボランティア団体などへ活動費の助成 (上限2万円)
- ★備品などの貸出し (無料)
TV、DVDデッキ、カメラ、プロジェクター、スクリーン、腕章、スタッフジャンパー、帽子、エプロン、名札ケースなど
- ★コピー機の利用
10枚を超えるものは、印刷機をご利用ください。
- ★印刷機の利用
(用紙は持参してください。)
- ★紙折り機の利用 (無料)
- ★ボランティアルームの貸出し (無料)
祖父江地区に2部屋あります。
- ★本誌「あい・あい」、ボランティア掲示板の活用 (無料)
PR、会員募集などに活用ください。

さすが!
頼りに
なるなあ〜!

稲沢市社協ボランティアセンター!!

ボランティアセンターでは、登録ボランティアさんを支援しています。どんどん活用してください。



(イラスト 松川)

ボランティアセンターが窓口です

ボランティア活動保険の加入は、お済みですか?

ボランティア活動保険とは、日本国内におけるボランティア活動中の偶然な事故により、①ボランティア自身がケガをした場合の「傷害事故」、②ボランティア自身が他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことにより、法律上の賠償責任を負った場合の「賠償事故」の2つの事故を補償の対象としたものです。

Q 掛金は?

A お一人250円から加入できます。

Q 補償期間は?

A 加入手続き完了した日の翌日午前0時から当年度3月31日午後12時までです。



ボランティア活動中に、転んでケガをした。



ボランティア活動に向かう途中、交通事故にあった。



活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。



ボランティア活動中、誤って他人にケガをさせた。



家事援助のボランティア活動で清掃中、誤ってガラスを割った。



ボランティア活動での後片付けで、誤って他人にケガをさせた。

みんなあつまれ～ 未経験者も大歓迎(●^●)～

依頼団体	募集メニュー	日時・回数	場 所	内 容	募集人数等	問合先
稲沢夏まつり実行委員会 	第15回 稲沢夏まつり 支援	7月24日(土) 13:00～17:00 7月25日(日) 9:00～21:00 ※当日は半日単位での参加が可能です。 ※1日のみ参加していただくこともできます。	稲沢公園	① 7月24日(土) 会場設営の補助 ② 7月25日(日) 当日運営の補助	10名以上	稲沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター 0587-23-6713
外国人の教育を考える会 グループレフォルソ	教育支援	土曜日 13:00～15:00 (月4回)	稲沢市総合文化センター 2階第2会議室	外国人小学生・中学生の 宿題のお手伝いなど	高校生以上 数名	加島智佳子 TEL.090-6465-1301
「はなのき寮」 支援ボランティアグループ	外出支援	月1、2回程度 10:00～15:00頃 (午後だけでもあり)	ショッピングモール、美術館、図書館、映画館、飲食店など	①リフト車運転(普通免許で可) ②外出時の介添え(資格不要) ③活動は稲沢市周辺に限定	数名	稲沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター 0587-23-6713
稲沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター	取材・原稿作成などを作成する編集委員	編集会議:3か月に1回程度 取 材:適宜	稲沢市社会福祉会館 (編集会議会場)	本誌、ボランティア・市民活動だより「あい・あい」の作成を楽しんでいきます!	数名	 (イラスト 松川)

ボラメール配信 ～ボランティアに関する情報が手軽に分かるよ～

ボランティア活動に関する情報をメール配信しています。

メール情報配信の登録を希望する場合は件名を「ボラメール」とし、本文に「氏名」、「住所」、「電話番号」を入力のうえ、

vol-info@inazawa-shakyo.or.jp

までご送信ください。



左下のマークは、どのような方が対象でしょうか。最も適切な答えを次の(ア)～(ウ)の中から一つ選んでね。

(ア)車椅子が必要なかた
(イ)耳の聞こえないかた
(ウ)すべての障がいのあるかた



福祉クイズ!

学生ボランティア
山田ちさとが出題!

まちの魅力発見



綺麗に咲き誇る、
性海寺のあじさい
(写真撮影 小島)

あいあい

発行 社会福祉法人
稲沢市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒492-8218
稲沢市西町三丁目10番24号 社会福祉会館内
TEL(0587)23-6713 FAX(0587)33-4666

連載

収集ボランティア活動

このような収集活動は
ありません

気をつけて!

割り箸の袋

そうだったんだ!



(イラスト 松川)

「割り箸の袋」を集めると、車いすに交換されるというウワサ。実際は、これはごみの減量運動の一環として行われたことで、現在はそのような活動はなく、もちろんそれらを交換する場所も存在しません。



編集委員の声

編集、取材と、若葉マークの私は「いざ出陣!!」と、意気込んで取材現場へと出かけましたが、優しい笑顔に迎えられる、一遍に心と和らぎ、楽しい取材をさせていただきました。この温かい雰囲気「あい・あい」より、皆様にも少しでもお伝えできたらと思います。これからも「あい・あい」をお楽しみに。

(編集委員 長尾)

